

鳥羽磯部漁業協同組合

○現在実施している又は今後実施予定の取組

鳥羽磯部漁業協同組合は、平成14年10月に三重県鳥羽市の16漁協と志摩市磯部町の6漁協が合併して発足しました。

当漁協の漁場は伊勢湾、伊勢湾口、遠州灘から熊野灘にかける外海、そして的矢湾と変化に富み、様々な漁業を営む沿岸漁業と海藻類や牡蠣などの養殖漁業が主体となっています。

当漁協では、令和5年度からアイゴの活用に注力しています。

近年、藻場が減少する「磯焼け」が大きな問題となっています。その一つの要因にアイゴ等の植食性魚類による食害が指摘されています。他方で、アイゴは当地域では古くから食されてきた大変おいしい魚です。

当漁協では、水揚げしたものを、すぐに締めて一次加工できる協力体制を築いてきました。そのため、鮮度の良い状態での原料提供が可能です。

三重県の協力のもと令和7年3月14日、三重県庁食堂にて「アイゴフェア～アイゴを食べて藻場を守ろう～」を開催したほか、学校給食でのアイゴ料理提供に合わせた藻場の授業や社食での提供、令和8年7月にも県内企業で「食べる環境対策フェア」としてアイゴを使ったメニュー提供などを行っています。

こうした取組を通じて、アイゴの販路や活用の可能性が広がるとともに、漁業者の新たな収入機会の創出や、藻場をはじめとする海の環境への関心の高まりにもつながっており、新たな地域資源として生かしていく動きが広がっています。

今後も、アイゴに限らず、伊勢志摩の豊かな海で水揚げされる新鮮な魚介類を全国の消費者にもお届けができるよう、時代の変化に即応し、立ち止まることなく努力してまいります。



令和7年3月・三重県庁食堂



令和8年6月・県内企業社員食堂

漁協ウェブサイト：<https://jf-tiss.net/index.html>

アイゴの取組：<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0024500366.htm>